

# 社友会だより

## 第 37 号

発行 センツウ社友会

住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 4-27-19

〒233-0006 大和田輝彦 内

編集者 大場省平

### \* センツウ社友会 第 26 回定期総会開催 \*

平成 25 年 4 月 13 日 (土) 12:00~東京都港区海岸 1-10-27 のシーサイドホテル (弥生会館) にて、第 26 回定期総会が開催された。

司会の松本理事が第 26 回センツウ社友会定期総会を開催する旨宣言し、開会した。

初めに、24 年度中にご逝去された、故前田昌幸氏のご冥福をお祈りし、出席者全員により黙祷を捧げた。

早速、会則 12 条に基づく議長には、松本理事が選出された。

議事に先立ち、法安会長から次のとおり挨拶があった。

#### 「法安会長の挨拶」

近頃、桜が狂い咲きしたり、我が国周辺では騒々しいことが起こっております中、皆さん遠路足をお運び下さりまして有難うございます。本日は、参加者が少ないよう



ですが、元気な顔を拝見し、嬉しく存じております。

私共の社友会も早いもので昨年末で 25 周年となりました。これまでの会の運営について、皆さんがどの様な目でご覧になっておられるかは別といたしまして、私は概ね順調に推移

していると申し上げてよいのではないかと考えております。

先ほど申し上げましたように、昨年の暮れに 25 周年になりました。25 年といえば、青年から壮年に移行する年代に差し掛かったのです。お手元でございます「センツウ社友会 25 年のあゆみ」のとおりでございます。急に思い立って急につくったので、拙速の域を脱しておりませんが、此れをご覧頂いて「こんなこともあった・こんな写真もあった」等々、色々ございましたら、補遺版を出したいと考えております。ご協力の程、宜しくお願い致します。

会に於いて変わったことと云えば、去年の総会でご審議頂いた規約改正で、つまり 7 月の総会を 4 月に繰り上げて初めての総会でございます。

それから会の運営も順調だと申し上げましたが、まだまだ問題が沢山あります。会員の増強が手かせ足かせになっています。他社に行かれた方は、微妙な問題がありなかなか会に入っただけではありません。この会員増強問題は、ぼちぼち進めるしかないと考えております。

次に、会報「社友会だより」であります。相変わらず原稿が頂けないので困っております。ジャンルは問いませんので何でも出してほしい。これがうまくいけば、北海道から沖縄まで散らばっている社友会の皆さんの近況等が分るわけですので、是非ご協力をお願い致します。

これまでの皆さんのご支援・ご協力につきましては、大変感謝しており、厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、皆さんのご健勝をお祈りいたしまして、私の挨拶といたします。



会長挨拶の後、議長は、本日中部支部から本田副会長、阪神支部から富田理事が参加いただいておりますので、紹介する旨発言。

本田副会長及び富田理事が其々自己紹介を行った。松本議長が、議事に入る旨宣言し、議事に入った。

#### ○議事

第 1 号議案 平成 24 年度活動報告及び会計報告承認の件  
大和田事務局長から「平成 24 年度活動報告及び会計報告」について説明し、長谷川監事が会計監査報告を行い、議長は議場に諮った結果、満場一致で承認された。

第 2 号議案 平成 25 年度活動計画及び予算案承認の件  
大和田事務局長から「平成 25 年度活動計画及び予算案」について説明し、議長は議場に諮った結果、満場一致で承認された。

#### 第 3 号議案 (報告事項)

「センツウ社友会 25 年のあゆみ」発行の件  
冊子の発行と内容を報告した。

#### 第 4 号議案 会則改正の件

大和田事務局長から、事務局長の交代に伴い、本会の事務所を新事務局 3 月まで務めました。47 年間の内、東京が 4 年 3 月まで務めました。47 年間の内、東京が 4 年長宅「神奈川県横浜市港南区芹が谷 4-27-19 大和田輝彦宅におく」旨、また、平成 25 年 4 月 13 日から実施する旨を説明し、議長は議場に諮った結果、満場一致で承認された。

#### 第 5 号議案 役員改選の件

大和田事務局長から、資料により「次期の役員候補」を説明し、議長は議場に諮った結果、満場一致で提案通り選任された。

なお、本件の審議に入る前に、大場副会長が会長推薦に至る経緯を説明し、出席者の理解と協力をお願いした。「会長推薦説明要旨」

次期役員候補につきましては、お手元の資料のとおりでございますが、過般の役員会に於きまして、席上法安会長から「過去何度も辞任をお願いしたいと云っていたにも拘わらず、一向に聞いて貰えない。ずるずると引っ張られて非常に最悪だ。」また、「有能な若手が雲霞の如く居るではないか。これ以上老醜をさらしたくない。巷では何と言っているか、皆さんご存知か。」

今度こそは、何と言っても辞したい」との要請がございました。各役員から、次期だけでも会長職に留まって頂きたい旨、お願い致しましたが、会長から翻意の発言が得られませんでした。従いまして、役員会では、各支部の意見を聴取した上で、改めて臨時役員会を開催し対応を協議することと致しました。

早速、崎山理事及び大和田事務局長が各支部の副会長及び理事に意向を聴取致しました結果、本部と同じく次期だけでも是非続投をお願いしたいとの意見が大勢を占めましたので、去る3月30日に臨時役員会を開催致しまして、全会一致で法安会長の留任を提案することに決定した次第です。

皆様のご了解を得たく宜しくお願い致します。

以上で議事は全て終了したので、議長から新規入会者を紹介。最後に、役員を代表し法安会長が総会終了の挨拶を述べ、議事を終了した。



### \* 総会後の懇親会 \*

松原理事の司会により、懇親会が開催された。初めに、芝尾さんに乾杯の音頭をお願いした。

芝尾さんが壇上に上がり、「久しぶりにお会いできて、本当に楽しい時間が持てると喜んで参りました。

この会に来ますと、私も若手に入るといっていますが、センツウ10代20代にて入社され、ここまでセンツウの為に働いてきた皆さん方、非常にお元気です。

よく集まり、よく飲み、プレーもよくおやりに成ったようで、本当に素



晴らしい会合ではないでしょうか。

NTTグループは絶対必要な組織です。日本だけでなく、世界中から技術力とサービスが期待されています。先行きは、どんな事があっても明るく世界のリーダーとしてやって行きたい。

では、本会の宴をお祝いし、乾杯したいと存じます。ご唱和願います。」乾杯！

開宴と同時に、各テーブルごとにグラスを傾け歓談された。

暫らく懇談の後、司会者から今般米寿を迎えられた山根さんに近況をお願いした。

「本日は、センツウ社友会第26回総会、大変おめでとうございます。

米寿のお祝いをセンツウ社友会から頂き、厚くお礼申し上げます。

実は私は、大正15年生まれで、大正15年は昭和元



年ですので、昭和の年号と私の年齢は一緒でございます。

従って、満年齢での米寿はあと1年数か月がありますので、本当の米寿まで、生き永らえたいと思

っています。どうぞよろしくお願い致します。」

続いて、中部支部からご出席の本田さんと阪神支部からご出席の富田さんに近況等をそれぞれお話し頂きました。

「本田さん」

今回の総会を含めて5年ぶり3回目の出席です。

当関東地方では、あまり顔・名前も売れておりませんが、東海、北陸、関西では一応名前も顔もとおっておりと自負しております。

中部支部の活動状況ですが、例年6月に一泊旅行、12月のセンツウの同窓の集い、新たに、3月支部総会を兼ねた花見会を開催し、年3回の行事を行うこととしました。

その他、重要な活動事項として、運営内規4条による担当地区の会員の勧奨に力を注いでおります。今までは、電話による勧奨であったが、昨年末から非会員を問わず行事の案内を送付、結果の報告を兼ねた写真集を送ることにしました。まだ成果はありません。

私ごとですが、後期高齢者2年生になりました。高齢者はどこかが悪いのが「正常」と言われており、いろいろな病気に罹っておりますが、「死なない」病気になりたいものだ。「病気」になっても「病人」にならないよう米寿まで頑張りたいと思っております。

「富田さん」

私の入社は、昭和41年で神戸支店に入りまして、この3月まで務めました。47年間の内、東京で4年東海







で2年、神戸以外で働きましたが、殆ど神戸大阪の関西で働きました。そのようなことから、関西の方で、社友会の事務局を務めさせて頂いています。

2回に渡り会合を持ちたい旨お声掛けをいたしました。先輩の方々は、年齢が重ねられており体調がすぐれない等で、徐々に参加者が少なくなり、毎年20名前後が集まっているのが実状です。また、若い人達が入会して頂けないのが悩みです。今後とも、自然体で皆さんに働き掛けをして、間口を広げておきたいと思っております。

47年間、色々なところでお世話になった方々がここに居られると思いますので、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、次の方からもご挨拶をお願いした。

### 「新会員なられた加藤さん」

皆さん今日は、私は社会保険労務士を行っています。元NTTにおりまして、センツウにお世話になりましたのは、平成7年1月でございます。

NTTを希望退職し、時々センツウにもお寄りしていた際に、総務部長さん等からお誘いを受けまして、資格を持っていましたので、総務部に籍を置かせて頂きました。



平成7年はいろんな事件が起こりました。

1月17日には阪神大震災が発生、神戸支店が被害を受け、国への助成金とか色々な手続きを専担で行いました。また、その年はサリン事件も発生、異常な年であったように記憶しています。

暫らくセンツウに居りましたが、「社会保険労務士」の仕事が入ってくるようになり、現在は、千代田区五番町に事務所を置き、仕事を続けています。

### 「NTT電友会から表彰された立石さん」

皆さんには、1年振りでお会いしますが、只今ご紹介がありましたように、非常に身に余る賞を頂きました。



その内容というのは、NTT電友会の会長賞を昨年11月15日に京橋会館にて受賞いたしました。

全国から36名の個人と5団体が表彰されその中の1人として権威ある賞を頂き感謝しています。

この経緯というのは、ドコモ同友会の小暮事務局長が、私が行っているボランティアの「園芸に係る高齢

者のリハビリと、活力ある活動ができるよう勢いづける」園芸療法の内容が有効である活動とのことで、急遽、昨年の夏に電話がありまして、電友会に推薦するから、活動の内容を原稿用紙に纏めて出してほしいとの依頼があり、提出した結果、運よく表彰を受けました。その内容は、センツウ社友会の会報に掲載されていますので、ご覧いただければと存じます。

### 「中締めは栗田さん」

ご指名を頂きました栗田です。実は私、平成22年に「くも膜下出血」で倒れ、3か月間、あちらの世界に行っていました。



今日もここに来ましたのは、出来るだけ足しげく会にこようと思っており、残りの時間を考えますと、あの時行っとけば良かったな

あーと、思い残したくない気持ちいで参った次第です。

ご先輩、ご同輩の皆さん非常に元気な姿を拝見いたしまして、大変嬉しく思っております。明日旅立っても思い残すことは無いと思っています。

それでは、皆様のご健勝と社友会の永続的に益々のご発展を祈念いたしまして、一本で締めさせていただきます。ご唱和お願いします。

参加者全員で、一本で締めて無事お開きとなった。





## 総会後に役員会を開催

平成 25 年 4 月 13 日（土）総会終了後、シーサイドホテルの 1 階喫茶室に於いて、中央役員会長以下 7 名と中部支部の本田副会長、阪神支部の富田理事が出席し、25 年度第 1 回役員会を開催した。

### 1. 議題

- (1)平成 25 年度 役員の主な担当業務について
- (2)25 年度役員会開催と活動計画」について
- (3)その他

### 2. 議事

#### (1)役員の主な担当業務について

- ①崎山副会長の担当業務の名称を地域連絡担当から支部連絡担当に改める。
- ②菅原副会長と松本理事の担当業務に研修担当を追加し、渉外・研修担当とする。
- ③松原理事から、懇親会等の担当変更について申し出があったが、中央地域のイベントに限定することとし継続して担当することとなった。
- ④本田副会長から、本部の連絡窓口の一本化に関して意見があり、本部・支部間の情報連絡窓口を本部事務局と支部事務担当に一本化することとした。
- ⑤その他の担当業務は原案どおりとする。

#### (2) 25 年度役員会開催と活動計画」について

平成 25 年度社友会活動計画表のとおり承認された。なお、本田副会長から、中部支部の活動計画についての説明があり活動計画表に盛り込むこととした。



#### (中部支部の活動計画)

- ・25 年 6 月 支部懇親旅行（下風呂温泉）
- ・25 年 12 月 センツウ同窓の集い
- ・26 年 3 月 花見の会

## 中部支部総会・懇親会を開催

### <レポート 本田太作さん>

平成 25 年 3 月 23 日（土）支部総会を兼ね遊覧船「堀川お花見クルージング」に乗って、近況を語り合ってきましたので報告します。



うららかな春の一日、御座船「頼朝号」一隻丸ごと貸切 2 時間コースを楽しんで来ました。

今回は、「喜寿を迎えられた佐藤」ご夫妻をご招待し並びに神戸から富田さんの参加をいただき、総勢 17



名の参加を得て開催しました。

出発は少々遅れましたが、順調に名古屋港向け出航しました。最初に支部長の挨拶、引き続き乾杯の音頭で宴会が始まりました。

遊覧船に乗って桜の花を眺めながらと言いたいところ残念、既に名古屋港は開花宣言なされておりましたが、堀川沿線（白鳥公園、宮の渡し）はつぼみ、花で酔うのではなく、アルコールで酔い、河口に近づくにつれて揺れが大きく大波でまた酔う飲み放題であったが、元を取ったのでしょうか?宴会の途中、奥田さんから、平成 24 年度の活動報告及び 25 年度の活動計画を報告されました。船は、ほぼ定刻通り出発地点に無事帰着。6 月の一泊旅行での再会を約し散会した。



この時期での支部総会、花見を兼ねた懇親会を今後とも行事の一環とし開催することとしました。



### お悔やみ

田中繁生 様 平成 25 年 1 月 24 日 享年 63 歳  
宮澤 謙 様 平成 25 年 4 月 17 日 享年 74 歳  
謹んでご冥福をお祈りいたします。

※会員以外の訃報です。

### 編集者からのお願い

皆様方の近況を募集しています。  
趣味・ボランティア活動・田舎暮らし等、ジャンルは問いません。  
1,000 文字程度、写真もお送りください。